

建設部		道路建設課						
事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)三才大豆島中御所線			
事業毎の通番		4	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	北長池(きたながいけ)～大豆島(まめじま)		
事業概要	事業目的	一般県道三才大豆島中御所線は、長野市の外郭をなす長野環状道路・東環状線の一部を構成する路線である。また、同じく環状道路を形成する国道18号「長野東バイパス」は、国土交通省が長野市街地の通過交通を円滑に処理し、渋滞の緩和と交通安全の確保を目的に整備を進めている。 当該箇所の道路改築事業は、周辺の道路整備と一体的に整備することで、渡河部に集中している交通の円滑化と安全性向上による沿道環境の改善や、周辺観光地や沿線に立地する工業団地などのアクセス向上による地域経済の活性化を図るものである。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	しあわせ信州創造プラン「国道18号整備推進」 長野市通学路交通安全プログラム 長野県強靱か計画、地域防災計画(第2次緊急輸送路)						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：算出中(現況交通量：18,849台/日)						
	着手年度	平成29年度	事業期間	10年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成38年度	費用対効果	1.6	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=2,050m W=14.0(30.0)m			4,300,000	2,365,000	1,741,500	193,500
	年度事業内容(主な工種)	路線測量、道路詳細設計 一式			70,000	38,500	28,350	3,150
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 52億円 長野県第二次緊急輸送路の整備					
		間接的効果(定量的・定性的)	市街地、主要渋滞箇所の渋滞緩和 観光振興、産業活性化					
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路があるが安全性低い ○交通結節点アクセス：バス路線、須坂長野東ICへのアクセス道路 ○生活支援・観光振興：観光地に通じる道路(エムウェブ、川中島) ○地域の活性化：産業拠点、レジャー施設へのアクセス道路			評価	A		
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン「国道18号整備推進」 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(2次) ○地域指定：信越観光圏、豪雪地域、積雪地域に指定			評価	A		
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.6 ○事業期間：10年間(H29～H38) ○工法等の比較検討：市道立体交差から平面交差とするコスト縮減 ○他事業との連携：国道18号長野東バイパス			評価	A		
	緊急性	○近年の交通事故件数：26件(H25～H27) ○危険箇所対策：道路見える化計画(ライラハ)のライラハ箇所(落合橋入口)の解消 ○歩道整備：通学路対策(長野市通学路安全プログラム) ○道路構造：現況車道幅員6.5m			評価	A		
	計画熟度	○事業情報の共有：東外環状線大豆島地区四車線化早期建設期成同盟会に計画概要説明済 ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(東外環状線大豆島地区四車線化早期建設期成同盟会) ○地域の合意形成：事業目的について合意が図られている ○住民との協働：大豆島地区元気なまちづくり市民会議で本計画に関連してまちづくりの計画を行っている。			評価	A		
	部意見	事業の必要性、重要性、効率性及び緊急性が高いため、平成29年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	通過交通の市街地流入を防ぎ市街地の渋滞緩和を図るため、東環状線整備の一部を担う当該事業は重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	評価結果	総合評価	O	A

位置図

概観図

標準横断面

至 須坂長野東IC

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	通過交通の市街地流入を防ぎ、市街地及び周囲の混雑を解消し、円滑な交通を確保する目的で長野環状道路が1991年(平成3年)に都市計画決定された。東外環状線は、延長9.4kmのうち、当該箇所を含む6.6kmが供用し、国土交通省が「長野東バイパス」(2.8km)の整備を進めている。「長野東バイパス」の開通後は、交通量の増加が想定されるため、四車線化の整備を行い、渋滞の緩和を図る必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	東外環状線大豆島地区四車線化早期建設期成同盟会から、毎年、要望が挙げられている。
③事業説明等の経緯	東外環状線大豆島地区四車線化早期建設期成同盟会に対し、計画概要説明済。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	国道18号「長野東バイパス」整備による交通量の増加に対応すると共に、一体となって長野地域の交通円滑化を図るものである。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	四車線化の整備により、渋滞の緩和を図り、沿道環境を改善する。
⑥地域活性化への影響と配慮	交通の円滑化が図られ、観光地へのアクセス向上や沿線の産業拠点や商業施設の活性化が期待される。
⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N	36° 38' 31"
	東経:E	138° 14' 35"